



# 長門市

## 記者配布(発表)資料

発信年月日：令和3年3月23日

所属部課	課長	担当職氏名	連絡先	TEL 0837-23-1137
経済観光部 観光政策課	岡田 年生	観光・スポーツ交流班 主査 大西 基		FAX 0837-22-6487
件名	『Discover Japan_TRAVEL 山口』の発刊について			

新型コロナウイルス感染症による影響の中、質の高い情報を編集、発信することを通じ、徐々に回復する観光需要を効果的に取り込む「戦略的情報発信事業」を、昨年6月から長門市、(一社)長門市観光コンベンション協会及び Discover Japan が連携して進めています。Discover Japan は価値ある“上質なモノ・コト・ヒト”を再発見し、わかりやすく、そして詳細に届けることで、日本でも屈指の実績を誇る月刊誌です。

この度、戦略的情報発信事業を連携して進めてきた Discover Japan から 2021 年 4 月号の増刊として、『Discover Japan\_TRAVEL 山口』が発刊されることとなりました。

冊子名：「Discover Japan\_TRAVEL 山口 旅と暮らしの間へ」

発行部数：約 3 万部

発売日：令和 3 年 3 月 25 日 (木)

頁数：A4 版 144 頁

定価：1,980 円 (税込)

販売場所：全国の書店 など

※本の内容など詳細については株式会社ディスカバー・ジャパン HP をご覧ください。

(<https://discoverjapan-web.com/article/55172>)



今後、このコンテンツを基に市のプロモーションや旅行会社との商談などに活用するほか、Discover Japan の発信力、ブランド力により多くの方にお手に取ってもらうことで、山口の魅力を発信し、いずれ回復する旅行需要 (インバウンド含む) において、目的地として選ばれることを目指します。また、市内の学校や図書館をはじめ市内・県内の各所に設置し、市民が自分の住んでいるところの魅力を理解し、長門市民であることを誇りに感じ、誰かに発信したくなるようなインナーブランディングにも取り組んでまいります。

今回のコンテンツを軸に、発信が一時的に留まらず、発信が自走していくような展開を促し、コロナ禍からの観光復興に取り組んで参ります。

(参考) Discover Japan について

発行：株式会社ディスカバー・ジャパン（統括編集長 高橋俊宏）

2008年創刊の『Discover Japan（ディスカバー・ジャパン）』は、“ニッポンの魅力、再発見”をコンセプトに、日本のモノ・コト・場所・人を通して、本物かつ上質な日本文化の魅力を、わかりやすく、丁寧に編集・提案する「日本の入門書」メディアです。

(過去の実績)

・ The Wonder of KYUSHU

熊本地震の影響で観光客数の減少にあっていた九州エリア全体を盛り上げ、誘客を促すためにさまざまなプロモーションを実施した中で、PR ツールの制作を担当。料理人、バイヤー、デザイナーなど九州に精通され、かつ、各界の第一線で活躍する日本を代表する“目利き”を選出し、韓国・中国・タイ・香港・台湾の5カ国（地域）ごとに、九州の魅力を凝縮した完全ガイドブックを制作しました。

・ Discover Japan\_TRAVEL 増刊号

『海の京都』、『プレミアムせとうち案内』、『山の都・匠の国 飛騨高山』 など、エリアに特化した増刊号を多数発刊しています。

Discover Japan **TRAVEL** 2021年4月号増刊

文化が交わり紡がれた、歴史・美・食の地

長門市に  
注目が集まる  
理由とは

対談：なぜ、いま長門市がアツいのか  
星野リゾート代表 星野佳路

×

ロンドンブーツ1号2号 田村淳

◎よみがえった立ち寄り湯「恩湯」と、  
街の再生物語

◎やまぐちを巡る旅：絶景編・歴史編・食編

◎進化・深化する萩焼の魅力

◎山口県は「食」の宝庫だった

— 魚介・長門名物：やきとり・日本酒ほか

◎名宿で過ごす、やまぐちへの旅

◎知ればもっと旅が愉しくなる：やまぐちの歴史

— 古代・中世・明治維新

# 山 口

旅と暮らしの間へ

